

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	金沢学院大学
設置者名	学校法人金沢学院大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
文学部	教育学科	夜・通信			14	14	13	
	文学科	夜・通信		48	24	72	13	
経営情報学部	経営情報学科	夜・通信			34	34	13	
芸術学部	芸術学科	夜・通信		7	58	65	13	
人間健康学部	スポーツ健康学科	夜・通信			24	24	13	
	健康栄養学科	夜・通信			24	24	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本学ホームページ「情報公開」 「大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る事項」 https://www.kanazawa-gu.ac.jp/about/syugakushien

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名	なし
(困難である理由)	なし

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	金沢学院大学
設置者名	学校法人金沢学院大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本学ホームページ 「情報公開」 「大学等における修学の支援に関する法律第7条第1項の確認に係る事項」 https://www.kanazawa-gu.ac.jp/about/syuugakushien
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社代表取締役	2019.1.19 ～ 2021.1.18	総括
非常勤	会社代表取締役	2019.1.19 ～ 2021.1.18	企業人としての意見
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	金沢学院大学
設置者名	学校法人金沢学院大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 学位授与の方針と整合した到達目標、明確な成績評価基準など学生等に対して示すため、シラバス作成要領を作成し、これに基づいてシラバスを作成している。 さらに、作成したシラバスは、記載内容が訂正であるかを学部長等による第三者チェックを行い、基準に合わない内容に対しては訂正・修正を行っている。 シラバスは本学HPに掲載し、学生ほか一般者への公開を行っている。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本学ホームページ https://cmweb.kanazawa-gu.ac.jp/campusweb/slbsskgr.do</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 単位取得は、試験、レポート、作品提出、出席日数等を総合して評価している。 成績評価はあらかじめ設定した基準により、厳格かつ適正に実施しており、この基準は、学生配付の学生便覧に掲載して公開している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 本学ではGPA制度を導入しており、この値はポータルサイトで自らの学修成果の推移を確認することができる。 判断基準及び算出方法については、学生便覧に以下の通り、掲載している。 <学生便覧 (p.22) より抜粋> (8). GPA について 本学では、「GPA (Grade Point Average) 制度を導入している。GPA はポータルサイト(キャンパスメイト)で確認できる。 ① GPA の意味と活用 ・GPA の値とは、各自の成績を数値化したものである。学期毎や学年毎までのGPA や入学からの通算のGPA を比較することで、自らの学習成果の推移を知ることができる。 ・各種奨学金の受給審査や学業成績に関する学長褒賞の受賞者決定のために活用する。</p>	

② GPA 対象科目
 GPA の対象となる科目は、各学部が規定する卒業要件に係わる授業科目とする。(不合格科目も含む。) 履修取消期間内に科目登録を取り消した科目は GPA の対象とならない。
 また、他大学等で修得した単位で、本学の単位として認定された授業科目は、GPA の対象とはしない。

③ 判定基準
 GPA は、下記の基準に基づいて評価した成績の GP (Grade Point) に各科目の単位数を掛けて合計し、履修登録した科目の単位数の合計で割った 1 単位あたりの GP 平均値 (Average) である。

判定	評価	評点	GP	内容
合格	秀	100 ~ 90	4	特に優れた成績
	優	89 ~ 80	3	優れた成績
	良	79 ~ 70	2	良好な成績
	可	69 ~ 60	1	合格と認められる成績
不合格	不可	59 以下	0	不合格
	放棄	—	0	放棄

④ GPA の計算式

$$GPA = (\text{秀の単位数} \times 4 + \text{優の単位数} \times 3 + \text{良の単位数} \times 2 + \text{可の単位数} \times 1) \div \text{総履修登録単位数}$$
 GPA の値には、D (不可) 評価、E (放棄) 評価を受けた科目についても計算に組み入れられる。したがって、安易に考えて開講期間の半ばで授業参加をやめた場合などは低い値となる。

客観的な指標の算出方法の公表方法	学生便覧に掲載 なお、学生便覧は本学ホームページ「情報公開」 https://www.kanazawa-gu.ac.jp/wp-content/uploads/2019/08/handbook_daigaku2019.pdf に掲載するとともに、本学教務部にて閲覧できる。
------------------	--

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)
 卒業要件は学則に定められており、これに基づいた各学部学科における詳細内容は学生便覧に掲載されている。
 卒業生については、各学部学科での教授会での審議を経て決定する。

卒業の認定に関する方針の公表方法	学生便覧に掲載 なお、学生便覧は本学ホームページ「情報公開」 https://www.kanazawa-gu.ac.jp/wp-content/uploads/2019/08/handbook_daigaku2019.pdf に掲載するとともに、本学教務部にて閲覧できる。
------------------	--

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	金沢学院大学
設置者名	学校法人金沢学院大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kanazawa-gu.ac.jp/wp-content/uploads/2019/08/taisyakutaisyohyou2018.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.kanazawa-gu.ac.jp/wp-content/uploads/2019/08/syushikeisansyo2018.pdf
財産目録	https://www.kanazawa-gu.ac.jp/wp-content/uploads/2019/08/zaisanmokuroku2018.pdf
事業報告書	https://www.kanazawa-gu.ac.jp/wp-content/uploads/2019/08/jigyohoukoku2018.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.kanazawa-gu.ac.jp/wp-content/uploads/2019/08/kansahoukokusyo2018.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:事業計画書 対象年度:H31)
公表方法:財務部に備え付け
中長期計画(名称:経営改善計画 対象年度:H28~H32)
公表方法:財務部に備え付け

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:本学ホームページ「情報公開」 http://www.kanazawa-gu.ac.jp/wp-content/uploads/2015/06/金沢学院大学自己点検評価書.pdf
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:本学ホームページ http://www.kanazawa-gu.ac.jp/page/jihe
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 文学部
教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ「情報公開」）
<p>（概要）</p> <p>○教育学科 豊かな語学力やコミュニケーション能力を身に付け、異文化に触れる体験を通して異文化についての理解を深め、国際的に活躍できる「グローバル人材」を育成する。具体的には、高い専門性をもった英語専科を担える小学校教員の養成と、グローバルな視野をもとに子どもの発達にとってよりよい環境を構成し、そのなかで子どもたちが国際的な視点や多様な文化を経験するような幼児教育に取り組んでいく保育者（幼稚園教諭・保育士）を養成する。</p> <p>○文学科 言語や文化についての広汎な知識と、人間及び人間社会に対する深い洞察力を涵養して、自他の文化を担う人間同士の円滑なコミュニケーションに資することのできる創造性豊かな人材を育成する。</p>
卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ「情報公開」）
<p>（概要）</p> <p>○教育学科 以下の力を身につけ、かつ、所定の単位を修得した学生に、「学士（教育学）」の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グローバルな視点で発想し、地域社会の教育と文化の発展に貢献できる。 2. 教育に関する諸課題を主体的に発見・分析・理解し、幅広い専門的知見をもとにその対応策について協働的に考え、行動できる。 3. 豊かな人間性や感性を備えた高度専門的職業人としての使命と責任を自覚し、継続的な自己研鑽への意志をもって教育活動に取り組むことができる。 <p>○文学科 以下の力を身につけ、かつ、所定の単位を修得した学生に、「学士（文学）」の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 主体的に課題を発見し、考え、解を見出す力を身につけている。 2. 他者とのインタラクション（相互作用）を通して、見出した解をさらに発展させることができる力を身につけている。 3. 文学、言語、心理、歴史などを通して、人間や社会に対する深い洞察力を身につけている。 4. 地域社会において、その文化的発展に資する積極的な姿勢を身につけている。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ「情報公開」）
<p>（概要）</p> <p>○教育学科 教育学科では、「養成する人材像」に基づき、以下のようなカリキュラム（教育課程）を編成しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学習指導論、教職論、保育原理などに関する教育学分野を中心に、教育活動全般で活用する基礎的な知識・技能の修得から専門的な知識・技能の修得に関する教育課程を体系的に編成する。 2. 豊かな人間性を備えた高度専門的職業人の育成のために、グローバル人材の育成、英語活動と英語教育、ICT活用、地域協働と組織マネジメント、インクルーシブ教育等の科目を体系的に編成している。

<p>3. 保育、幼児教育、小学校教育、中学校英語教育に関してそれぞれ実習科目を設定し、理論と実践の往還を踏まえた学修の集大成としての卒業研究に臨めるように教育課程を編成している。</p> <p>○文学科 文学科では、「養成する人材像」に基づき、以下のようなカリキュラム（教育課程）を編成しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学教育の基礎となるスキルを身につける初年次教育 2. 広い視野と人生を豊かにする教養を身につける一般教養教育 3. 自らの考えを広く世界に発信する力を身につける外国語教育 4. 自分の適性を見きわめ、人生を設計する力を身につけるキャリア教育 5. 他専攻の専門科目の受講を必須とする、人文科学・社会科学を横断的に学ぶ履修制度 6. 地域社会を学びの場とした教育 7. 自ら選択した学問分野の知識を深める専門教育 8. 主体的学修の集大成としての卒業研究
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページ「情報公開」）</p> <p>（概要）</p> <p>○教育学科 2018年4月開設</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グローバル社会、多文化共生社会への幅広い関心を持ち、そうした時代に対応した人間形成のための理論・実践研究を深めようとする学生 2. 教育への幅広い関心を持ち、教育実践者として、確かな知識と理論をもって教育の現代的課題の解決に向け意欲的に取り組もうとする学生 3. 大学で学修するための必要な日本語や英語の基礎的な力を備え、高度な教育実践者となるための意欲をもち他者と協力していくことができる学生 <p>○文学科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文学、言語、歴史、心理、また、文化や社会、人間などに対し幅広い興味と関心を持ち、自分の目標や希望が明確である学生 2. 自ら問い、自ら考え、自ら学び、主体的に社会で活躍する意欲を持つ学生 3. 大学で学修するために必要な日本語や英語の基礎的な力を備え、さらにそれを伸長する努力を惜しまない学生

<p>学部等名 経営情報学部</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ「情報公開」）</p> <p>（概要）</p> <p>経営や経済の仕組み、ビジネスの動向、情報の収集や活用方法を学ぶことによって、現代社会、とりわけ地域社会的確かな分析を行うとともに、課題に対応していく実践的な知識を身につけた創造性豊かな人材の育成を目指し、その活躍の場を企業活動にとどまらず、広く自治体や各種団体等に想定する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ「情報公開」）</p> <p>（概要）</p> <p>以下の力を身につけ、かつ、所定の単位を修得した学生に、「学士（経営学）」の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業経営や経済の仕組み、情報システムに関する基礎を理解している。 2. グローバルな視点から、あるいはローカルな視点から企業経営や経済について理解している。 3. これらに基づいて、自ら問題の発見とその解決について対応できる。

<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ「情報公開」）</p> <p>（概要）</p> <p>経営情報学部では、「養成する人材像」に基づき、以下のようなカリキュラム（教育課程）を編成しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学教育を受けるための基礎学力とスキルを身につける初年次教育 2. 広い視野と人生を豊かにする教養を身につける一般教養教育 3. 自らの考えを広く世界に発信する力を身につける外国語教育 4. 自分の将来を見すえ、自己の人生を考える力を身につけるキャリア教育 5. 地域の社会・経済と結びついた教育 6. 経営、経済、経営情報の基礎力を身につける教育 7. 身につけた専門知識を活かして地域の課題について考える教育 8. 主体的学修の集大成としての卒業研究
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページ「情報公開」）</p> <p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営学、経済学、経営情報学を融合的に学びたい学生、あるいはこれらのいずれかの学問をさらに深めたいと考えている学生 2. 社会に存在する課題を発見し、その解決に積極的に取り組む意志を持つ学生 3. 大学で学修するために必要な国語や数学の基礎的な力を備え、さらにそれを伸長する努力を惜しまない学生

<p>学部等名 芸術学部</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ「情報公開」）</p> <p>（概要）</p> <p>表現領域についての広汎な技術及び知識と、社会に対する深い洞察力を養成し、円滑な意思疎通や自己表現に資することのできる創造性豊かな人材を養成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ「情報公開」）</p> <p>（概要）</p> <p>以下の力を身につけ、かつ、所定の単位を修得した学生に、「学士（芸術学）（Bachelor of Art and Design）」の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 表現領域についての広汎な技術および知識と、社会に対する深い洞察力を有し、円滑な意思疎通や自己表現ができる。 2. 創造的かつ論理的な思考力を持ち、社会における自己の役割を認識し、自ら考え、自ら行動できる。 3. 芸術の専門的な知識・表現技術のみならず、創造性・観察力、課題発見・解決能力を、現代社会の多様な分野で活かすことができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ「情報公開」）</p> <p>（概要）</p> <p>芸術学部では、「養成する人材像」に基づき、以下のようなカリキュラム（教育課程）を編成しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 創造の基盤となる「芸術表現基礎」を配した初年次教育 2. 広い視野と人生を豊かにする教養を身につける一般教養教育 3. 自らの考えを広く世界に発信する力を身につける外国語教育 4. 柔軟な発想と理解力を身につけるための横断的かつ多様な学びができる履修制度 5. 協働で問題解決を図るためのコミュニケーション能力を身につける教育 6. アクティブラーニングや地域連携等の活動を通して主体的に学ぶ実践教育 7. 芸術全般に関する知識や技能の修得を通して、地域社会との繋がりを理解する教育 8. 自らが選択した表現領域における専門教育 9. 主体的学修の集大成としての卒業研究・卒業制作

<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページ「情報公開」）</p> <p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 絵画、造形、デザイン、映像、メディアに対する強い興味、また、社会や人、芸術全般に対する関心を自らの人生目標に反映させようとする学生 2. ものごとへの誠実な取り組み姿勢と五感を働かせて学びとる成果を、主体的に社会に還元していこうとする学生 3. 大学で学修するために必要な国語力、現代人としての教養を身につけ、さらにそれを伸長する努力を惜しまない学生
--

<p>学部等名 人間健康学部</p> <p>教育研究上の目的（公表方法：本学ホームページ「情報公開」）</p> <p>（概要）</p> <p>○スポーツ健康学科</p> <p>人間健康学部スポーツ健康学科は、体力等の向上を図る地域のスポーツ愛好者から競技力の向上を図るアスリートにいたるまでの最先端のトレーニング論と、現代社会に求められる健康づくりや身体づくりのための健康科学を、理論と実際の面から学び、スポーツ及び健康にかかわって深く貢献できる次代を担う人材を育成する。</p> <p>本学科の教育研究は、専門知識と理論の習得はもとより、社会の変化や時代が要請する創造性と革新性を志向する人材、人格においても高い倫理性と社会的規範を有する人材の育成を目指す。</p> <p>○健康栄養学科</p> <p>人間健康学部健康栄養学科は、建学の精神および教育理念に基づき、健康づくりを最新の栄養学の観点から学び、専門的かつ高度な視点から地域の健康と栄養に関わる課題を捉え、生涯に亘る健康の維持・増進に貢献できる管理栄養士の育成を目指す。より具体的には、地域のニーズに応える管理栄養士の養成を図り、医療、福祉、学校における食育など様々な場面で高度な栄養ケアマネジメントおよび栄養教育の中核となって地域の健康増進に資する管理栄養士を育成する。</p> <p>卒業の認定に関する方針（公表方法：本学ホームページ「情報公開」）</p> <p>（概要）</p> <p>以下の力を身につけ、かつ、所定の単位を修得した学生に、スポーツ健康学科では「学士（スポーツ健康学）」、健康栄養学科では「学士（栄養学）」の学位をそれぞれ授与します。</p> <p>○健康栄養学科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 広い視野を有し、深い教養と豊かな人間性を身につけている。 2. 医療、福祉、介護などの現場で適切な栄養ケアマネジメントを行う力を身につけている。 3. 栄養教育活動に積極的に参加し、生活習慣病予防に貢献する意欲をもっている。 4. 地域との連携を重視し、地域の食文化の継承に積極的に関わることができる。 <p>○スポーツ健康学科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツ、健康についての必要な知識と能力を身につけている。 2. スポーツ科学、健康科学に関する基礎的知識を身につけ、各人に対する問題点をみつけだし、適切なプログラムを提供できる。 3. グローバルな視点に立って、スポーツや健康の問題を考え、提言できる。 4. アスリートのためだけでなく、子供から高齢者まで、楽しく正確にスポーツや運動を指導できる。 5. スポーツ科学や健康科学を通じて地域社会に貢献できる。 <p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：本学ホームページ「情報公開」）</p>
--

<p>(概要)</p> <p>人間健康学部では、「養成する人材像」に基づき、以下のようなカリキュラム（教育課程）を編成しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学教育の基礎となるスキルを身につける初年次教育 2. 状況を見極め分析し、自己発信する力を身につけるキャリア教育 3. スポーツ健康学と健康栄養学を総合的・体系的に学ぶ専門教育 4. 地域の健康問題に関心を持ち、課題解決能力を養う教育 5. 主体的学修の集大成としての卒業研究
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：本学ホームページ「情報公開」）</p>
<p>(概要)</p> <p>○健康栄養学科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康や栄養に関心を持ち、食と栄養に関する専門職として管理栄養士になることを目標に、その専門的かつ高度な知識・技術を真摯に学ぼうとする意欲のある学生 2. 修得した専門的かつ高度な知識・技術を人々の健康のために役立て、地域社会の福祉や発展に貢献したいという意欲のある学生 3. 管理栄養士養成課程で学修するために必要な日本語、英語及び化学・生物における十分な力を備え、さらにそれを伸長する努力を惜しまない学生 <p>○スポーツ健康学科</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 体育・スポーツ・健康の領域に対し強い興味と関心を持ち、自分の目標や希望が明確である学生 2. 身につけた運動技能に関する知識をさらに高めて、体育・スポーツの発展に貢献する情熱と意欲を持つ学生 3. 高等学校段階までの保健体育で学習する内容を理解し、さらに大学で学修するために必要な国語力を備え、自らの考えを自らの言葉で発信できる学生

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：本学ホームページ「情報公開」</p> <p>http://www.kanazawa-gu.ac.jp/about/outline</p>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）								
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計	
—	3人	—					3人	
文学部	—	15人	12人	13人	3人	0人	43人	
経営情報学部	—	11人	4人	1人	0人	0人	16人	
芸術学部	—	7人	7人	2人	0人	0人	16人	
人間健康学部	—	15人	4人	2人	6人	6人	33人	
b. 教員数（兼務者）								
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計	
0人			60人				60人	
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：本学HP「情報公開」 研究者情報 https://www.kanazawa-gu.ac.jp/wp-content/uploads/2018/09/H30研究者情報.pdf						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）								
<p>本学では、FD活動は、学長指揮のもとで大学改革を推進するための学内組織「教育開発センター」が取り組むプロジェクトの1つに位置付けられており、これらを推進する組織として副学長を委員長とする大学FD委員会を全学的な委員会として設置し、活動を行っている。</p> <p>平成30年度は以下の要領で、併設の金沢学院短期大学と合同で全学的な研修会を実施した。</p> <p>第1回FD／SD研修会 日 時：平成30年7月31日(水) 16:30-17:30 内 容：障がい学生の支援について</p> <p>第2回FD／SD研修会 日 時：平成30年9月14日(金) 15:40-17:00 内 容：1 今後のFD／SD活動について 2 アセスメントポリシーとルーブリックについて 3 ルーブリック作成のワークショップ</p> <p>シラバス作成に関するFD研修会 日 時：平成30年12月26日(水) 17:30-18:00 内 容：1 平成31年度シラバス作成における留意点について 2 ルーブリックの作成と運用について</p>								

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
文学部	250人	278人	111%	820人	799人	97.4%	10人	1人
経営情報学部	180人	216人	120%	740人	758人	102%	10人	1人
芸術学部	70人	79人	113%	280人	259人	92.5%	0人	0人
人間健康学部	200人	230人	115%	830人	814人	98.1%	15人	7人
合計	700人	803人	114.7%	2670人	2630人	98.5%	35人	9人
(備考)								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
文学部	131人 (100%)	1人 (0.8%)	123人 (93.9%)	7人 (5.3%)
経営情報学部	150人 (100%)	1人 (0.7%)	141人 (94.0%)	8人 (5.3%)
美術文化学部	53人 (100%)	2人 (3.8%)	47人 (88.7%)	4人 (7.5%)
人間健康学部	100人 (100%)	5人 (5.0%)	92人 (92.0%)	3人 (3.0%)
合計	434人 (100%)	9人 (2.1%)	403人 (92.8%)	22人 (5.1%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
進学先：金沢学院大学大学院				
就職先(3ヵ年)：九州旅客鉄道株式会社、(株) インテック、日本郵便株式会社、株式会社北國銀行、株式会社北陸銀行、金沢市役所、石川県警察本部、コマニー株式会社、株式会社ローソン				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 全学科の教育課程表は、本学ホームページ「情報公開」で公開している。また、シラバスについてもすべての授業について Web 化しており、本学ホームページのトップページ及び「情報公開」いずれからでもアクセスできるようになっている。
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 入学生に配付している学生便覧に「金沢学院大学学修の手引き」を記載し、科目の履修および単位の修得、卒業要件単位等について明記している。あわせて履修の登録や取消の方法、試験と単位の認定、GPAの算出方法についても明記し、周知している。				
学部名	学科名	卒業に必要な 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
文学部	文学科	128 単位	有・無	単位
	教育学科	128 単位	有・無	単位
経営情報学部	経営情報学科	128 単位	有・無	単位
芸術学部	芸術学科	128 単位	有・無	単位
人間健康学部	スポーツ健康学科	128 単位	有・無	単位
	健康栄養学科	128 単位	有・無	単位
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：本学ホームページ「情報公開」 https://www.kanazawa-gu.ac.jp/page/information
--

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
文学部	文学科日本文学専攻	730,000円	200,000円	260,000円	
	文学科英米文学専攻	730,000円	200,000円	290,000円	
	文学科歴史学専攻	730,000円	200,000円	310,000円	
	文学科心理学専攻	730,000円	200,000円	290,000円	
	教育学科	750,000円	200,000円	370,000円	
経営情報学部	経営情報学科	730,000円	200,000円	330,000円	
芸術学部	芸術学科	850,000円	200,000円	430,000円	
人間健康学部	スポーツ健康学科	770,000円	200,000円	340,000円	
	健康栄養学科	850,000円	200,000円	430,000円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組 (概要) 学生に配付する学生便覧に「金沢学院大学学生規則」を掲載し、学生の修学に係る支援について明記している。また、本学独自の奨学金制度をはじめ、各種奨学金については、本学ホームページやキャンパスガイド等に記載し、周知している。
b. 進路選択に係る支援に関する取組 (概要) 就職支援部では、学生一人ひとりの希望に応じた職種・業種の紹介や就職相談をはじめ、個別の模擬面接、試験対策「KGC講座(金沢学院キャリア講座)」、企業採用担当者を招いての「学内企業説明会」など、さまざまな取り組みを実施している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組 (概要) 学内に「保健室」と「なんでも相談室」を設置している。 保健室は、学生自身が健康への関心と理解を深め、充実した学生生活を送っていくことができるようサポートしており、「なんでも相談室」は、心身の健康、人間関係、修学・履修、進路・就職、その他どんな学生生活上の問題についても相談に応じ、学生自身が、不安なく充実した学生生活を送っていくことができるようサポートしている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：本学ホームページ「情報公開」 https://www.kanazawa-gu.ac.jp/page/information
--